

# 座位による内頸静脈拍動と中心静脈圧の関係に関する研究

## 1. 研究の対象

2014年4月～2024年3月の間に当院で心臓カテーテル検査を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

頸静脈の観察は、中心静脈圧の推定に有用と言われてますが、標準的な観察法はありません。座位での頸静脈拍動は中心静脈圧上昇を示唆していると考えられていますが、実際のカテーテル圧と比較した研究はありません。

右心カテーテル検査を施行前の診察所見（座位での頸静脈拍動の有無）と右心カテーテル検査での平均右房圧を中心静脈圧の代用として比較検討することを目的としています。

また、平均右房圧上昇している方と、そうでない方との予後（死亡や心不全再入院）を比較検討することも目的としています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

すでに、右心カテーテル検査を行った方のデータに関し、後ろ向きに検討します。カルテから情報収集を行います。情報の種類は、病歴、治療歴、心エコー図検査のデータ、血液データ、カテーテル検査の圧力データです。

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

## 5. 研究組織

心臓病センター榊原病院 林田晃寛

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで2022年3月31日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：循環器内科 林田晃寛（研究責任者）